

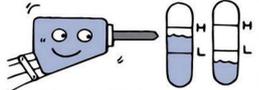
油圧ブレーカ及び油圧圧砕機等使用時のご注意

資料提供オカダアイオン株式会社

油圧ブレーカ

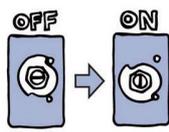
保管時・始業前に下記の事項を必ず行ってください。

作動油の確認



- 始業前に、作動油が入っているか、汚れていないか確認してください。
- 作動油は600時間毎、オイルフィルターは100時間毎に交換してください。

ストップバルブの確認



バルブは必ずONに合わせてください。

ボルト、ナット、ホースの点検



ボルト、ナット、ホースがしっかり取付けられていることを確認してください。

※ボルトの締付けは交互対角・均等に行ってください。

グリスアップをしてください



- 作業中は2時間おきに、チゼル部に5～6回グリスアップしてください。
- チゼルはしっかり押し込んでから入れてください。

保管時はタガネを下向きに



作業終了時は、雨水によるサビからピストン・シールを保護するため、タガネを下に向けて保管してください。

ブレーカー内部の雨水滞留は危険!

暖機運転をしてください



ブレーカ使用時の適正油温範囲は50～80℃です。ブレーカを初めて使う時や、毎始業時には、10分程度垂直に、7割程度のエンジン回転数で、ならし運転を行ってください。

下記の事項を必ず守って作業してください。

破砕物に急激に当てない

ショベルもブレーカも壊れることがあります。



連続して押力を加えない

チゼルが抜けると打撃できません。



割れたらすぐにストップする

空打ちが多すぎると各部が傷みます。



こじりながら打たない

チゼルが折れることがあります。



同じ場所を1分以上打たない

油温が上昇してシールが痛むことがあります。



ストロークエンドにして打たない

ショベルが壊れることがあります。



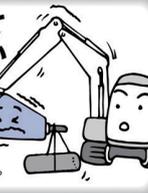
フロントキャップを水や泥などににつけない

※水中使用時は改造が必要です。ショベルもブレーカも壊れることがあります。



物を吊って作業しない

クレーン作業は禁止されています。



油圧圧砕機及びフォーク

アタッチメントと油圧ショベルを能率よく安全にご使用いただくために下記の事項を必ず守って作業してください。

落下物に注意



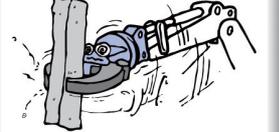
解体物が落下する範囲内は、人が絶対立ち入らないようにしてください。

不安定な場所での作業は危険



作業現場や、走路は平坦に。建物内では、床の強度を点検し、床の崩壊に注意してください。

こじらない



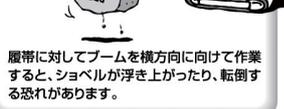
アタッチメントで柱や梁などのこじり作業を行うと、アタッチメントもショベルも壊れることがあります。

叩かない



破砕片が飛来したり、アタッチメントが壊れることがあります。

履帯に対して横方向の作業は要注意



履帯に対してブームを横方向に向けて作業すると、ショベルが浮き上がったり、転倒する恐れがあります。

ジャッキアップをしない



油圧ショベルのアーム・ブームに無理な力が働くと、アタッチメントもショベルも壊れることがあります。

旋回時の接触到注意



不用意に旋回すると、周囲や頭上の障害物に接触し、危険です。

カッター刃でコンクリートを噛まない



カッター刃が摩耗し、鉄筋が切れなくなります。

ストロークエンドの状態では噛まない



油圧ショベルのシリンダーに無理な衝撃が作用し、シリンダーが壊れることがあります。

油圧ショベルが浮き上がる作業は禁止



油圧ショベルの作業半径より定められた制限重量以上で使用すると、転倒する危険があります。

グリスアップをしてください



作業前に一回、1日2回以上、必ずグリスアップを行ってください。